

ほん おんがく  
**本で音楽をたのしもう♪**  
 はにゅうしりつとしょかん

「おんがくねずみジェラルディン」

レオ=レオニ/作 好学社 E/オ

ジェラルディンは大きなチーズを見つけ、  
 ともだち あつ 友達を集め、かみ と 噛み取ってあげました。するとチーズが  
 ねずみのかたち ねずみの形が現れ、その  
 ちびるの唇にはフルーツが…。



「クマと森のピアノ」

デイビッド リッチフィールド/作 ポプラ社 E/ク

こぐまのブラウンは、森のなかでピアノを  
 み 見つけて、やがて素敵な演奏が  
 できるようになった。ブラウン  
 の演奏を聞いた人間に、街に出  
 るようにすすまられて…。



「おんがくかいのよる」

たしろ ちさと/さく ほるぷ出版 E/ゴ

ある満月の晩、月明かりの下で歌うかえる  
 たちの見事な歌声に感動し  
 た5匹は、ねずみの音楽会を  
 計画しますが…。



「くまの楽器店」

安房 直子/作 小学館 E/ク

野原の真ん中に、くまの楽器店がありました。  
 そこにやってくるのは、かわい  
 い男の子や、元気のないおじ  
 さん、おなかをすかせたねずみ  
 の子、寒がりやのうさぎ…。



「セロひきのゴーシュ」

宮沢 賢治/原作 理論社 E/セ

町はずれの壊れた水車小屋に住むセロ弾き  
 のゴーシュは、楽団で一番  
 上手。夜、いっしょうけんめ  
 い練習していると、動物た  
 ちがやってきて…。



「いたずらトロールと音楽隊」

アニタ ローベル/さく ログリン社 E/イ

旅まわりの5人組の音楽隊は、トロールから、  
 楽器に魔法をかけられてし  
 まいました。それ以来、楽器  
 から出るのは、おかしな音ば  
 かり。この魔法をとくにはど  
 うすればいいのでしょうか。



「きょうはマラカスのひ クネクネさんの  
 いちにち」樋勝 朋巳/文 福音館書店 E/キ

クネクネさんはマラカスが大好き。今日はお  
 ともだちをよんでマラカス  
 の発表会です。この日をと  
 ても楽しみにしていたので  
 すが…。



「ドオン!」

山下 洋輔/文 福音館書店 E/ド

オニの子ドンはいたずらもの。にんげんの子、  
 こうちゃんもいたずらもの。二人  
 は、とうとう家から追い出されま  
 した。こうちゃんの上にドンが落  
 っこちてきて…。



「つきよのおんがくかい」

山下 洋輔/文 福音館書店 E/ツ

満月の晩、山のうえでジャムセッションを楽しむ  
 動物たちに出会うこうちゃん。鮮  
 やかな色の対比と、「キャンキョ  
 カリコレカリコレ(ピアノ)」などの  
 擬音がユニークな絵本。



「ぼくがふえをふいたら」

阿部 海太/作 岩波書店 E/ポ

フルーフルー。笛の音は風にのり、彼方にこ  
 だまして、眠るだれかをよび  
 おこす。重なり広がり響きあ  
 い、音は喜びに満ちていく。



「むしたちのおんがくかい」

得田 之久/文 童心社 E/ム

まちの中の公園で、むしたちが音楽会をはじめよ  
 うとしたとき…、ジャジャジャー  
 と大きな音が! むしたちは、  
 音楽会のできる場所をさがしにに  
 でかけて…。



「ポポくんのおんがくかい」

accototo/作 PHP 研究所 E/ポ

かばのポポはくまと楽しくリズムを奏でてい  
 ましたが、みんなで新しい  
 楽器を作ることを思いつき…。



「こんくんのおんがくはっぴょうかい」

たしろ ちさと/作 講談社 E/コ

つんつくむらの渡り鳥は、遠い北の国で夏を  
 過ごし、毎年秋になると、またむらにやって来  
 ます。きつねのこんくんは、秋  
 になったら湖で音楽発表会  
 をしようと、渡り鳥たちの訪  
 れを待ち望んでいましたが…。



「フラニーとメラニー すてきなおんがく  
 かい」あいほら ひろゆき/ぶん 講談社 E/フ

赤うさぎのフラニーと妹メラニーは森の元気なス  
 ープやさん。ある日、森の奥で鳥たちが大ゲン  
 カ。でも、かけつけたうさぎの  
 姉妹がつくったそら豆のスー  
 プを飲んだら、あらあら、不思議  
 …。

